

父母の会ニュース

神戸市重度心身障害児(者)父母の会

第206号

発行: 令和4年1月25日
責任者: 武田 純子
TEL: 078-335-8508
FAX: 078-335-8509
URL: kobe-jyushin.com
E-mail: hubonokai6530@iaa.itkeeper.ne.jp

地域とつながる

神戸市重度心身障害児(者)父母の会
会長 武田 純子

新しい年を迎えました。この1年皆さまのご健康を心から祈念いたします。

コロナ禍の変異に惑わされながらも、コロナ感染防止対策は3年目に突入しました。

忘れもしません! 確か2年前の年末に恒例のバザー会場の詰めをするべく役員間で確認していた時期、神戸市内の某所で感染者発症の一報を耳にしたのが、この間のようでした。年明けに予定していた第48回チャリティーバザーはやむを得ず中止となり、それからというもの行事という行事は軒並み中止の連鎖で活動有無は文字通り試行錯誤の2年間でした。

それでも会の運営は予定通り遂行し定例理事会、市の各部門の会議等は継続してリモートやオンラインを駆使して参加しました。

高齢化の波が押し寄せていた当会は、この時期コロナ禍にも負けずに、次々と新企画をしては中止、又中止にめげず次のアイデアを企画……という頼もしい若手の会員が動いてくれました。

地域に於いては、交流行事が激減してしまうと、以前一緒に企画、動員、実行を共にしてきた地域の方々との接点が止まってしまい、人間関係までもが希薄にならないかと気持ちすら萎えてしまいしまいそうで、「これではいかん」……と発想転換しコロナと共有しながらの活動に置き換えました。

私事ですが今期で地域の民生委員の定年を迎えます。民生委員児童委員協議会の活動の中で高齢、こども(子育て等)の支援は浸透しておりますが、障害の分野は未開拓です。障害の理解はあっても個人情報等が壁となり地域支援までには至りません。兼ねてから提言してきたことではありますが「個人情報の観点から障害者の分野の地域支援は難しい」のが現状です。支部活動を単位としている当会の活動が、一番身近かに相談が出来る民生委員と連携することによって地域で支援しやすい関係が小単位で出来ると有難いです。連携出来るような働きかけは行政、地域、会員共々努力する必要がある次第です。

全国社会福祉協議会会長表彰を受けて

垂水支部 中新井兵吾

このたび、全国社会福祉協議会会長から、社会福祉事業に尽力したことによる功績に対して表彰をいただきました。これは、私一人がいただいたものでなくて父母の会を代表して私がいただいたものです。

私は、昭和 50 年に父母の会に入会しました。その後、平成 3 年に垂水支部長に就き、平成 5 年からは垂水区社会福祉協議会評議員の委嘱を受けて活動し、平成 22 年 10 月からは父母の会事務所の勤務員として勤め現在に至っています。今日までに多くの先輩諸氏及び会員の皆様に迷惑をお掛けしながら一緒に会の活動を続けてきました。

特に社会福祉協議会評議員に就いたことが今回の表彰の基となったと思っています。しかし、父母の会という「看板」を背負っていたからこそ頂けたことは間違いありません。

父母の会に携わったことにより、多方面の方々とお知り合いになり、交流を深めてきたことは私の宝物となっています。ここまで支援してくださった皆さんに厚くお礼申し上げます。これからも皆様方に喜んでいただける活動をして行きますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



理事の方達と写真を撮りました
(撮影時のみマスクを外しました)



神戸市バリアフリー基本構想に協力して

神戸市は駅前周辺の事業計画が進み、「三宮駅」「名谷駅」「垂水駅」「西神駅」各周辺の4地区を重点整備地区に定めバリアフリー化を進めようとしております。

当父母の会も昨年11月1日～8日に、実際に4駅周辺を障害者が利用する際のバリアは何かを障害者等市民の視点で一緒に現地を歩き検証しました。目的は生活関連施設および生活関連経路（生活関連施設を結ぶ道路、駅前広場、通路等）の検証です。事前に障害福祉課が作成した4地区のまち歩きDVDを観てから担当の方と当会の会員数名で4地区を歩き障害者の視点で気づいた個所の調査に協力しました。その後12月16日開催の「神戸市バリアフリー推進会議」に於いて提言しましたが、今後の整備に役立て欲しいと願うばかりです。多機能トイレに多目的シートの設置、EVの場所を知らせる音声案内の設置、生活道路の歩道の拡張等歩いてみてはじめて諸々の気づきがわかりました。

今回のまち歩きの体験から何よりも心のバリアフリーに対する理解と意識が必要だと言う事を実感した調査でした。

まち歩き調査に参加して

西支部 吉田義夫

名谷地区と西神中央地区のまち歩き調査に参加しました。

普段は何気なく見過ごしていましたが、足や目の不自由な方の立場になって歩いてみると段差や点字ブロックなど気になるところがたくさんありました

神戸市にアンケート調査の回答を提出しましたが、多くの方の意見や要望を街づくりに役立てていただきたいと思います。

各地区の調査では1時間ほど歩きましたが、自分自身の運動不足も痛感しました。



「神戸市バリアフリー基本構想」
ホームページです



はじめまして！「じゅうしんマルシェ」です

事業部 山内由香

以前からいこいの家で、『ミニバザーをしては？』と提案があり、昨年12月21日(火)に「じゅうしんマルシェ」と名付けて開催しました。

思案中でしたが、新たにオミクロン株による感染者(市中感染)が増えつつあり、兵庫区役所みなとがわホールも大規模接種会場に使われるそうで、今年度も3月5日の予定だった『愛のチャリティーバザー』は中止することになりました。

開催にあたって感染対策を入念に考え、受付では名前、連絡先、体温、入室時間を記入してもらい、手指消毒をして入室。密にならないように人数制限もしました。

当日の11時オープンから次々とお客様が来られ、通りすがりの方々も声をかけると立ち寄って下さいました。嬉しいことに60代後半の男性二人が主催者のことを聞かれたので当会の説明をしますと、「それは協力しないといけないな」と言われ沢山の買い物だけでなく、寄付もしていただきました。地域に根付いた団体として「いこいの家」でミニバザーをすることに意味があるのだと感じました。天気にも恵まれ、おかげさまで、予想外の売上げになりました。手伝いして下さった方々にお礼を申し上げます。

今後様子を見ながら、毎月第3火曜日11時～14時に開催する予定です。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。お待ちしております。



ポニー教室

事業部 時本清子

昨年の11月、12月は前号でお知らせした感染症防止対策を取りながら、ポニー教室を再開できました。ただし1月は新しい変異株の急速な広がりにより、灘さくら支援学校の会場のポニー教室は開催、青陽須磨支援学校の会場のポニー教室は直前に中止となりました。2月はどちらも中止となります。今後も状況を確認しながらの判断になりますので、よろしくお願ひします。

ごちゃまぜフェスタ

きっず&ゆーす 井関 宏美

1月8日(土)~9日(日)の2日間にわたり「ごちゃまぜフェスタ」を開催しました。
「障がいがあってもなくても、きょうだいもいっしょに」をテーマに開催。

前回計画していた福祉機器用具展示会がコロナウィルスの感染拡大により開催中止を余儀なくされ、次回の開催の目処もたてることができず、このままイベント事は全て無くなってしまふのかと思いましたが、やはり当事者の想いを発信する世の中に知ってもらうことの大切さを実感し「できるかな？」ではなく「やろう！」という流れになりました。

もちろんコロナの感染者数の影響を考慮しつつ、その中できっず&ゆーすのメンバー各々がやりたい事を提案し決まったテーマは「たべる・あそぶ・くらす」。

なんとなくテーマを分けて開催した事が結果として当事者の生活が見える形となり、展示会参加者や支援者の立場で参加してくださった方からは、当事者の生活の一部ではなく生活の流れが見える初めて体験させてもらった展示会だったと伺い改めて開催して良かったと。

保護者目線からみんなに知って欲しいこと、こんな食べやすいものがあたらいいな・こんなおもしろいこと・楽しい事ができるといいな・こんなものがあたらいいよねという想いを発信する場の大切さ、当事者の想いを伝える場づくりを大切にしていきたいと思えます。

今回たくさんの方のご協力を賜りました事、この場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。

たべる



あそぶ



くらす



支部活動

東灘支部

新川由美子

東灘支部も思うように活動できませんが、ミニバザーを予定した 11 月には緊急事態宣言が解除されていたので、2 年ぶりに地域の児童公園で開くことができました。

以前と比べて人通りが少ないことが、結果として感染対策にもなりました。支部で力を合わせてまたバザーができるのを楽しみにしています。

また東灘区自立支援協議会くらし部会に所属しており、H.28 から他の障害者団体と神戸国際大学との交流授業を続けていますが、昨年から学生と直に顔を合わせた授業は難しい中、オンライン授業のやり方を学びながら取り入れていただいています。

須磨支部

山内由香

4 月に支部行事を計画しますが、新型コロナウイルス感染の影響で施設見学が、中止になりました。残念です。来年 3 月末におおぞら号で、北区の農園へイチゴ狩りに行く予定です。車椅子の方も参加できるので、皆さんと一緒にいけるのを楽しみにしています。

灘支部

上脇洋子

令和 3 年のクリスマス会をにぎやかに開催しました。「楽しかった」「ケーキが大きくて美味しかった」「ツリーが上手に作れた」「ゲームもプレゼントも最高！」とたくさんの声をいただきました。先生方の笑顔と私達の笑顔が一つになれたクリスマス会でした♡



あなたの想いを聞かせて

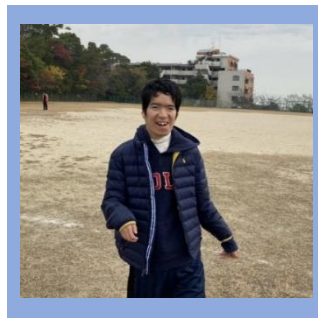
東灘支部 佐々木玄一郎

建人は生まれて直ぐに県立こども病院に搬送され、以来、家族ともども障害と闘う日々が続きました。確かに苦しいことの連続ですが、それ以上に楽しいことも多く、何とか毎日を過ごしています。

そこには、「神戸重度心身障害児(者)父母の会」の沢山の方々の支えが「力」となっています。施設や制度の貴重な情報共有も大切だと感じています。そういった支えが、私たち家族がご近所や学校・通所施設・職場など関わる社会との相互理解を深めていくきっかけにも繋がると思います。

建人も 28 歳、当然のことながら家族も年を取ります。これから先も、彼が笑顔で暮らしていけるよう、準備してやらなければならない段階です。

これからも皆様方とお互いに支えあっていけたら、と思っております。今後とも宜しくお願い致します。



こんにちは じゅうしん須磨寺です ~今年もよろしくお願ひします~



2021年も前年に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け続けた1年でした。

行事などもほとんどできず、ようやく年末に、利用者全員（13人）集合でのクリスマス会を開催することができました。

コロナ禍の一日も早い収束を祈っています！

写真で見る2021年～季節を感じる花と食べ物～



春 網敷天満宮の梅



須磨寺（本坊）の梅



須磨寺参道の桜



お大師さん（他事業所のお菓子を販売）
※ぜんざいは、緊急事態宣言発令中は販売中止



夏 かき氷



鯉のぼり



秋の味覚
黒枝豆＆松茸ご飯



ティータイム
パン・チーズ・ケーキいろいろ



クリスマス ピザ&ケーキ



◇「じゅうしん神戸」「じゅうしん須磨寺」を支えてください◇
◎会員として支える（正会員5,000円・賛助会員2,000円） ◎ボランティアとして支える など
郵便振替口座：00990-7-254520 加入者名：特定非営利活動法人じゅうしん神戸

◆◆◆お知らせ◆◆◆

- ・1月18日(火)「じゅうしんマルシェ」は、感染状況を基に判断して中止といたしました。今のところは2月15日(火)11時～14時いこいの家で行う予定です。
- ・2月5日(土)・19日(土)「ポニー教室」もオミクロン株の感染増のため中止といたします。
- ・1月31日(月)～2月10日(木)兵庫区役所1階ギャラリースペースにおいて、じゅうしん父母の会の活動・チャリティーバザー中止・ミニバザー開催のポスターを展示いたします。

◆◆◆会員の動き◆◆◆



【お願い】

※書き損じの官製はがきを「じゅうしん父母の会」へ提供してください。

※父母の会事務所(いこいの家)の開所時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に9:30～16:00として継続しています。

お電話によるご連絡又はご来所については、
できる限り『10:00～16:00』の間をお願いします。



編集後記

寒中お見舞い申し上げます。本年もよろしく申し上げます。

最近よく耳にする「SDGs」のお話し。SDGsとは「持続可能な開発目標」の略称で、2015年国連サミットで採択され「誰一人取り残さない」を理念に2016年から2030年の15年間で達成すべき世界の目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

神戸市バリアフリー基本構想はユニバーサルデザインに配慮した整備を進めており、それはSDGsの「誰一人取り残さない」精神と共通しています。障がいの有無にかかわらず、誰もがその地域で暮らし続けていける「持続可能な社会」を目指して、声を届け続けることは大事だと思います。(N.Y)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

